

研 修 名	令和５年度 ビギナーズ研修会	実 施 日 時	令和５年７月２８日（金） 受付 13:00～ 研修 13:10～16:15
会 場	春日部市民文化会館 大会議室	参 加 者 数	ビギナーズ研修対象者 36 名
開会行事 会長挨拶	木村 公一 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・東部事務研は東部事務所管内の公立小中学校が全校加入している研究団体。 ・今回研修に参加しているのは、同じ時期に配属されたいわゆる同期にあたる事務職員が多い。この同期との絆を大切にしてほしい。 	
事 務 研 活 動 について	内藤 純彦 理事長	<ul style="list-style-type: none"> ・東部事務所管内の公立小中学校に所属している 310 名の事務職員で構成されている組織 ・活動目標、事業計画、広報とうぶ、J-Box について説明 ・東部事務研とのかかわり方 日常の業務について不明なことがあった場合、共同学校事務室等で解決したり、支援してもらえるようになった。以前までその役割を担っていた東部事務研の必要性・意義が問われてきている。それに伴い、参加率の低下・理事のなり手不足という問題を抱えている。積極的な事業への参加をお願いします。 	
講義	東 部 教 育 事 務 所 総 務 ・ 人 事 ・ 学 事 担 当 田 村 嘉 則 主 席 管 理 主 事 様	<p>○夏休み中にしてほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎心身のリフレッシュ ◎キャリアアップ（専門職（事務職員）としての仕事について勉強を） ・若い、キャリアが浅いので、勉強と言っても深いところまではこだわらず、1 年間何をするのか等の見通しを持つ・仕事の意味を考えながら仕事をする ・ETC で仕事をする <p>Enjoy 笑顔で・楽しんで Think 考えて（仕事の意味・その仕事は何に、どこに繋がっていくのか・先生方や児童生徒にどんな意味合いをもった仕事なのか） Change・Challenge 働き方改革により、限られた時間の中で効率を考えて仕事をしなくていけない時代に変化してきている、学校を変えていかなければならない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の反省を活かしてどうやったら効率よくできるか、見通して仕事をすることを学んでほしい ・共同実施のメンバーや管理職・今日のビギナーズ研修会で作ったネットワークを使って学んでいく ・一人職としての孤独感がある。（校長や教頭と同じように）事務にしかできない仕事があると思う。共同実施等の仲間はいるが、つきつめると 1 人でやらなければならない・責任がある。 <p>○気持ちよく仕事をするためのコツ ⇒ 結果として仕事がしやすくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎いつも笑顔で先生方や子どもたちと接する <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で礼儀正しく、はつらつとしている人は頼られ信頼されている事務が多い ・仕事はできても人当たりがきつかったり暗い表情でいたりする人は近寄りたく、その人の良さを理解する・わかってもらえるまでに時間がかかる ◎判断に迷ったら管理職や共同実施の先輩・仲間に相談する <ul style="list-style-type: none"> ・考えることは力量の向上にもなるが、人に聞くことも大事（1 時間悩むより 5 分 10 分電話をする）⇒効率化になるのではないだろうか ・考えた上で管理職に相談する・自分の意見を持ち、「こう考えていて、こうしようと思うが良いか」等具申するスタンスを取ることが大事 ◎線引きをしない（線引き⇒これは自分の仕事ではない） <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでやろうとしていることから離れてしまう ・自分も教職員の中の一人である、学校行事や共同作業等にも参加し絆を深める <p>※あまりにも職務から逸脱している場合はこの限りではないが。</p> <p>○ルーティンの仕事だけではない 人間が仕事をしていて、人間が動いているわけだから、レアな事案の発生することがある。それに対し、事務職員としてできることがあるのではないかな…</p>	

		<p>そうなったとき、横のつながり（共同実施の先輩や同期等）に相談するネットワークを大切に、来年度以降後輩が入ってきたら積極的に声をかけてあげられる先輩になってほしい</p> <p>○学校管理訪問について 東部管内 300 校程度を 5～10 月に手分けして回る 管理面の確認・指導の助言を行う 諸表簿の点検のうち事務職員の作成するもの ・教育業務連絡指導手当と出勤簿の整合性や時間外勤務の申請についての確認も行う ◎時間外勤務について⇒先生方には教員手当（４％）がついているが事務職員にはついていない 控えめにならず必要なものは必ず申請をする・36 協定を結んでいるのだから遠慮をする必要はない</p> <p>○働き方改革について 昨今、学校の教職員の働き方改革が叫ばれている 時間外勤務の上限は昨年までは 80 時間/月だったが、令和 6 年度末の目標は 45 時間/月 かつ 360 時間/年になる 働き方改革に対して、受け身ではなく主体的になってほしい。仕事の効率化を考えたり、軽重を考えたりし、先々のスケジュールを立てて仕事を行うことが働き方改革につながる 校務支援システムの波に乗ってほしい、柔軟に対応してほしい 急なタブレットの普及に対して、わからない等の忌避感を抱いてしまう人がいるが、武器にしてほしい。子どもの文房具のようにツールとして上手に使ってほしい。 学校は変化を嫌う雰囲気がある。気づいたことやこうなればもっと良くなるということについては、会議等で積極的に発言してほしい。管理職としての働き方改革や事務職員としての働き方改革だけではなく、学校の教職員として、全体で働き方改革をしてほしい。</p>
グループ別討議	※6 グループに分かれて討議 ※討議終了後すべてのシートを見て回る	※各グループ記録用紙参照